

マイクロエンジニアリング専攻

I. 志望区分

専攻	志望区分	研 究 内 容	前後期連携教育プログラム	
			融合工学コース*	高度工学コース
マイクロエンジニアリング専攻	1	構造材料強度学（最適システム設計、生産システム、コンピュータ援用設計・生産・解析）	a, f	任意の志望区分を選択できる
	2	マイクロバイオシステム（生体模倣システム、機械学習、ナノ・マイクロ加工、マイクロ流体力学、細胞・分子生物学）	a, c, f, g	
	3	ナノ・マイクロシステム工学（ナノ・マイクロシステム、材料・加工・実装、センサ、アクチュエータ、ナノ構造物理）	a, c, f, g	
	4	ナノ物性工学（量子ビーム工学、表面・界面物性）	a, b	
	5	生命数理科学（複雑適応システム、アクティブマター、生物物理学、計算力学）	a, b, c	
	6	マイクロ加工システム（ナノ形態制御、ナノ粒子、ナノワイヤ、光機能デバイス、マイクロ熱流体工学）	a, b, d	
	7	精密計測加工学（計測工学、精密加工学、加工の知能化、制御理論応用）	a, f	
	8	バイオメカニクス（生体組織・細胞力学、メカノバイオロジー、計算力学、分子力学計測）	a, c, f, g	
	9	ナノ生物工学（バイオエンジニアリング、マイクロ流体工学、1 細胞生物学、オミクス、遺伝子制御）	a, c, g	

*前後期連携教育プログラム（融合工学コース）の対応

- a. 応用力学分野
- b. 物質機能・変換科学分野 c. 生命・医工融合分野
- d. 融合光・電子科学創成分野 e. 人間安全保障工学分野

{*}以下の 2 分野は、「博士課程教育リーディングプログラム」に関連する「融合工学コース 5 年型」の分野のため、原則として修士課程時から選択していた進学者のみが対象になりますが、分野によっては、所定の条件を満たせば、修士課程時の選択の有無にかかわらず、博士後期課程からの編入学が可能です。

- f. デザイン学分野 g. 総合医療工学分野

※各分野の詳細は、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）参照

Ⅱ. 募集人員

2025 年度 10 月期入学：

マイクロエンジニアリング専攻 若干名

2026 年度 4 月期入学：

マイクロエンジニアリング専攻 7 名

※入学時期を 2025 年度 10 月期あるいは 2026 年度 4 月期のいずれかから選択すること。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。インターネット出願システム上で、2025 年度 10 月期入学と 2026 年度 4 月期入学のいずれかを選択すること。

Ⅲ. 出願資格

本募集要項「Part A: Ⅱ－i 出願資格」参照

Ⅳ. 学力検査日程

7 月 3 1 日 (木)	13:30～ 口頭試問
---------------	----------------

試験場は桂キャンパス C クラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ. 入学試験詳細

(1) 英語

筆記試験は行わず、TOEFL または TOEIC の成績で代用する。以下に記す方法でスコアが提出されない場合には英語の得点は 0 点となる。なお、本学工学研究科機械工学群 3 専攻の修士課程修了（見込み）者で前後期連携プログラムの履修生は、スコア提出を免除することがある。また、英語を母国語とする受験者は、「英語を母国語とする旨の宣誓書」（様式 E）の提出によりスコア提出を免除することがある。不明な点は予めⅥ. (4)に問い合わせること。

TOEFL の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEFL-iBT（Home Edition は除く）の ETS から紙媒体で送付される Test Taker Score Report の原本（コピー不可）を提出すること。

TOEIC の成績：

試験実施日より過去 2 年以内に受験した TOEIC L&R (Listening & Reading Test) 公開テストの Official Score Certificate（公式認定証）の原本（コピー不可）を提出すること。

<参考>各試験に関するホームページ：

TOEFL	https://www.toefl-ibt.jp https://www.ets.org/toefl.html
TOEIC	https://www.iibc-global.org/toEIC.html

(2) 口頭試問

これまでの研究の内容および博士後期課程における研究計画について 15 分程度の発表の後、その内容やそれらに関連した分野の学識について口頭試問を行う。試問室にはプロジェクタが設置されている。パソコンは各自持参すること。それ以外の映像機器を使用する場合は事前に問い合わせること。受験者が口頭試問の発表指導を指導予定教員から受けることを妨げない。

VI. 出願要領

(1) 志望区分の申請

志望する研究分野の区分番号を、「Ⅰ. 志望区分」より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。本専攻出願にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と指導予定教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(2) 入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書の提出

（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

別紙 入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）を

2025 年 6 月 11 日（水）午後 5 時までに

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

（マイクロエンジニアリング専攻）宛に提出すること。出願書類とは提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(3) TOEFL または TOEIC スコア

2025 年 7 月 17 日（木）午後 5 時までに

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

（マイクロエンジニアリング専攻）宛に提出すること。出願書類とは提出期限、提出・問合せ先が異なるので注意すること。

(4) 問合せ先

不明なことがあれば下記に問い合わせること。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（マイクロエンジニアリング専攻）

電話 075-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参照： <https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam>

VII. 入学後の教育プログラムの選択

本専攻の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは以下の2種類である。

(1) 前後期連携教育プログラム「融合工学コース（「Ⅰ. 志望区分」に記載の分野）」

プログラムの詳細及び各融合工学コースの内容については、工学研究科HP（「工学研究科教育プログラム」 <https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）を参照すること。

(2) 前後期連携教育プログラム「高度工学コース（マイクロエンジニアリング専攻）」

詳細は次項を参照すること。

いずれのプログラムを履修するかは、「入学後の教育プログラム（コース）履修志望調書（様式 MD）」に基づき、受験者の志望と入試成績に応じて決定される。教育プログラムの志望にあたっては、志望区分の指導予定教員に必ず連絡を取っておくこと。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記VI. (4) まで問い合わせること。

VIII. 教育プログラムの内容について

本専攻における前後期連携教育プログラム「高度工学コース（マイクロエンジニアリング専攻）」の内容は以下のとおりである。

「微小な機械システムは 21 世紀における人間社会・生活に大きな変革をもたらす原動力です。また、生体は最精密な微小機械の集合です。本専攻は、それらのシステム開発の基礎となる微小領域特有の物理現象の研究をはじめ、微小機械に特有の設計・制御論に関する研究・教育を行います。ナノ・マイクロエンジニアリングのみならず医学・生命科学分野をはじめとする多くの分野に関連することから、本専攻では、機械工学を取り巻く異分野との融合領域における研究者・技術者を育成します。」

IX. その他

本専攻の教員および研究内容は下表のとおりである。

マ イ ク ロ エ ン ジ ニ ア リ ン グ 専 攻	
研 究 内 容	区分
構造材料強度学研究室 （泉井教授・林講師） (1) 複合領域および複合物理問題の最適システム設計 (2) 形状・トポロジー最適化 (3) 機械製品・生産システムの構想設計法 (4) ユニバーサルデザイン (5) サステナブルエンジニアリング	1
マイクロバイオシステム研究室 （横川教授・藤本准教授・松本助教） (1) 生体分子・細胞計測のためのマイクロ・ナノシステムの設計と加工に関する研究 (2) オンチップ血管網を用いた腫瘍微小環境形成過程の再現と解明 (3) ヒトiPS細胞由来オルガノイドを用いた脳・腎臓の臓器モデル創製と創薬応用 (4) ウイルス感染モデルを用いた組織間相互作用の解明 (5) 機械学習を用いた血管網をはじめとする3次元培養組織の形態および形成過程の解明	2
ナノ・マイクロシステム工学研究室 （土屋教授・廣谷准教授・パネルジー講師・霜降助教） (1) ナノ・マイクロスケールの材料創成・加工・プロセス・デバイス・システム (2) マイクロセンサ・アクチュエータ（慣性センサ、共振子、光学素子） (3) ナノ・マイクロスケールにおけるエネルギー輸送・変換の計測と制御 (4) ナノ・マイクロ機械デバイスをを用いた機械学習システム (5) IoTや生体情報計測のためのフレキシブル・ストレッチャブルデバイス	3
ナノ物性工学研究室 （中嶋准教授） (1) 量子ビームと固体表面の相互作用に関する研究 (2) 高分解能イオン散乱分光法の開発と応用に関する研究 (3) 高速クラスターイオンと物質の相互作用およびその応用に関する研究 (4) 透過型二次イオン質量分析を用いた新しいイメージング質量分析法の開発 (5) 高速重イオンを用いた高感度二次イオン質量分析法の開発	4
生命数理科学研究室 （井上教授・瀬波講師・森川助教） (1) 生きものらしさが現れるダイナミクスの解明 (2) 複雑適応システムの構造と発展の理論 (3) 生命システムの制御機構の解明 (4) 生物の形態形成の数理モデリングと工学応用 (5) 生体内ネットワーク構造の理論と人工系ネットワークの設計	5
マイクロ加工システム研究室 （鈴木教授・名村准教授） (1) 物理的な自己組織化法によるナノ形態の制御に関する研究 (2) 形態を制御したナノ粒子・ナノワイヤの形成と応用に関する研究 (3) ナノ形態を制御した多層膜による光機能性の創出とその応用に関する研究 (4) ナノ形態制御表面を利用したふく射・吸収の制御に関する研究 (5) 光熱変換薄膜を利用したマイクロ熱流体現象に関する研究	6
精密計測加工学研究室 （河野准教授） (1) 工作機械の運動誤差の計測と補正 (2) 超精密計測加工システムの開発 (3) 切削加工プロセスのモデル化とデザイン (4) 機械要素の剛性、摩擦のモデル化 (5) 加工機の動的設計	7
バイオメカニクス研究室 （医生物学研究所）（安達教授・牧准教授・竹田助教） (1) 力学環境に応じた生体システムの構造・機能適応のメカニズム (2) 多細胞組織の発生・形態形成の多階層力学モデリングとシミュレーション (3) 骨細胞の力刺激感知と細胞間コミュニケーションによる骨リモデリング (4) ゲノム DNA の力学動態を介した細胞運命決定メカニズム (5) 細胞内構造の力学制御に基づくマイクロ・ナノマシナリー創製	8

研 究 内 容	区分
<p>ナノ生物工学研究室（医生物学研究所）（新宅教授・金子助教・峯岸助教）</p> <p>（１）１細胞生物学のためのナノ・マイクロ流体力学</p> <p>（２）細胞力学と遺伝子制御</p> <p>（３）細胞動態と遺伝子発現の時系列計測による遺伝子制御ネットワーク解析</p> <p>（４）細胞周辺微小環境のin vitro再構築のためのナノ・マイクロ工学</p> <p>（５）細胞動態と遺伝子発現制御を接続する機械学習プラットフォームの構築</p>	9

※The Japanese language version of the information provides here is to be given precedence.

Department of Micro Engineering

I. Research Area Preference

Department	Preferred Research Area	Research Subjects	Postgraduate Integrated Course Program	
			Interdisciplinary Engineering Course*	Advanced Engineering Course
Department of Micro Engineering	1	Strength of Materials and Structures (Optimal system design, production system, and computer-aided design/production/analysis)	a, f	Applicants can select any of these research areas.
	2	Micro Biosystems (Microphysiological systems (MPS), machine learning, nano/micro fabrications, microfluidics, cell and molecular biology)	a, c, f, g	
	3	Nano/Micro System Engineering (Nano/micro-system, material, fabrication, assembly, packaging, sensor, actuator, and nanostructure physics)	a, c, f, g	
	4	Nanomaterials Engineering (Quantum beam engineering and surface/interface properties)	a, b	
	5	Life and Mathematical Sciences (Complex adaptive systems, active matters, biophysics, and Computational mechanics)	a, b, c	
	6	Micro Process Engineering (Nanostructure control, nanoparticles, nanowires, optical functional devices, and thermal microfluidics)	a, b, d	
	7	Precision Measurement and Machining (Instrumentation engineering, precision machining, intelligent processing, and control theory applications)	a, f	
	8	Biomechanics (Biological tissue and cellular mechanics, mechanobiology, computational mechanics, and molecular mechanical measurement)	a, c, f, g	
	9	Nano Bioengineering (Bioengineering, microfluidics, single-cell biology, omics, gene regulation)	a, c, g	

* Corresponding Integrated Master's-Docoral Program (Interdisciplinary Engineering Course):

- a. Applied Mechanics b. Materials Engineering and Chemistry c. Engineering for Life Science and Medicine
d. Interdisciplinary Photonics and Electronics e. Human Security Engineering

{*} For the following two laboratories, as a general rule, only students who selected them for their master's program are eligible for selecting them when they proceed to their doctoral program. This is because these laboratories are under our “5-Year Interdisciplinary Engineering Course” relevant to the “Program for Leading Graduate Schools.” However, provided that prescribed requirements are met and depending on their field of study, transferring applicants may be accepted into these laboratories regardless of the course they selected for their master's program.

- f. Design Science g. Integrated Medical Engineering

* The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website (URL: <https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69>).

II. Enrollment Capacity

October 2025 Admission: Department of Micro Engineering: A few

April 2026 Admission: Department of Micro Engineering: 7

*Choose their admission date from October 2025 or April 2026. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose October 2025 Admission or April 2026 Admission on the Kyoto University Online Application.

III. Eligibility requirements for applicants

Please refer to “Part A: II-i. Eligibility” of this guideline.

IV. Examination Schedule

Thursday, July 31	1:30 PM– Oral examination
-------------------	------------------------------

The examination room is located in the C Cluster on the Katsura Campus.
Details will be notified when sending an examination voucher.

V. Details of Entrance Examinations

(1) English:

We accept either TOEFL or TOEIC scores. If the score is not submitted according to the specified method described below, the English score will be zero. Applicants who have completed (or are expected to complete) the master's course program in the Division of Mechanical Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University and are enrolled in the Integrated Master's-Doctoral Course Program are exempt from submitting the score. The applicant whose native language is English is exempt from submitting the score by submitting the form (E): English Language Proficiency Declaration. If there is any questions or concerns, please contact [VL\(4\)](#).

TOEFL score:

Submit the original Test Taker Score Report (no copies allowed) issued by ETS for the TOEFL-iBT test taken within two years prior to the examination date. Note that the score of TOFEL-iBT Home Edition is not accepted.

TOEIC score:

Submit the original Official Score Certificate (no copies allowed) for the TOEIC L&R (Listening & Reading Test) test taken within two years prior to the examination date..

(2) Oral examination:

Applicants will first give a presentation (for about 15 minutes) on research they have worked on and future research plans for their doctoral program and will be asked about their presentation and academic knowledge in related fields. The examination room is equipped with a projector. Applicants must bring their own computers. If you need any other video equipment for your presentation, please contact us beforehand. Applicants are allowed to receive guidance from their prospective supervisor for their oral examination presentations.

VI. Instructions on Application for Admission

(1) Application of preferred research area:

Applicants must select one research area from “I. Research Area Preference” and indicate their selected research area on the preference entry screen of our Internet application system. Before applying for this department, applicants must contact a prospective supervisor for their preferred research area in advance.

In advance contact, the prospective supervisor will determine whether the study and research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the prospective supervisor. Furthermore, in order to facilitate studying and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between applicants and the prospective supervisor.

- (2) Submission of Statement of Course Selection:
(Please download the form from the website of the Graduate School of Engineering.)
Applicants must submit their Attachment: Statement of Course Selection (Form MD) to
Educational Affairs (Department of Micro Engineering),
C Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
by no later than 5:00 PM on Wednesday, June 11, 2025.
- (3) TOEFL or TOEIC score:
Educational Affairs (Department of Micro Engineering),
C Cluster Office, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
by no later than 5:00 PM on Thursday, July 17, 2025.
- (4) Contact for general inquiries:
If you have any questions or concerns, please contact the following.
Educational Affairs (Department of Micro Engineering), C Cluster Office,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, JAPAN 615-8540
Phone: +81 75-383-3521 E-mail: 090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Reference: <https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/en/admission/exam>

VII. Selecting your course after enrollment

Successful applicants who passed the entrance examination for this department can pursue the two following courses after enrollment.

- (1) Integrated Master's-Doctoral Program - Interdisciplinary Engineering Course
(Laboratories listed in "I. Preferred Research Area")
The details and contents of the programs and Interdisciplinary Engineering Course are described in our website
(URL: <https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69>).
- (2) Integrated Master's-Doctoral Program - Advanced Engineering Course
(Department of Micro Engineering)
For details, please refer to the following section.

Successful applicants' course assignment is determined based on their examination results and preference as indicated in the "Statement of Course Selection (Form MD)." Before applying for this course, applicants must contact the prospective supervisor for their preferred research area in advance. If you are not sure who your supervisor is or have any other questions, please contact us at the contact information provided in Section VI. (4) above.

VIII. Course details

This department offers the following in our "Advanced Engineering Course (Department of Micro Engineering)" under the Integrated Master's-Doctoral Program.

"Micromechanical systems are the driving force of a major transformation in human society and our lives in the 21st century. And organisms are a collection of highest-precision micro machines. This Department offers education and research in the field of design and control theories unique to micro machines, including researches into physical phenomena specific to minute regions that serve as the foundation for developing the above mentioned systems. As this involves not only nano/micro engineering but also many other fields, including medicine and life science, we nurture researchers and engineers specializing in interdisciplinary areas with other fields of study surrounding mechanical engineering."

IX. Other

Listed below are this department's faculty member and their respective research areas.

Department of Micro Engineering	
Research Descriptions	Area number
<p>Strength of Materials and Structures (Professor Izui and Junior Associate Professor Lim)</p> <p>(1) Optimal system design methodology for multi-disciplinary and multi-physics problems</p> <p>(2) Shape and topology optimization</p> <p>(3) Conceptual design methodology for mechanical products and manufacturing systems</p> <p>(4) Universal design</p> <p>(5) Sustainable engineering</p>	1
<p>Micro Biosystems (Professor Yokokawa, Associate Professor Fujimoto, and Assistant Professor Matsumoto)</p> <p>(1) Design and fabrication of micro/nano systems for biomolecules and cells</p> <p>(2) Development of in vitro tumor micro-environment model for understanding of their formation process</p> <p>(3) Brain and kidney-on-a-chip using human iPS cell-derived organoids and their application to drug discovery</p> <p>(4) Development of in vitro virus infection model to understand inter-tissue interactions</p> <p>(5) Machine learning for understanding morphologies and development of 3D cultured tissue such as vascular network</p>	2
<p>Nano/Micro System Engineering (Professor Tsuchiya, Associate Professor Hirofumi, Junior Associate Professor Banerjee, and Assistant Professor Shimofuri)</p> <p>(1) Nano/micro scale material, fabrication process, device and system</p> <p>(2) Micro sensors and actuators (Inertia sensors, resonators and optical devices)</p> <p>(3) Measurement and control of energy carrier transport and conversion in nano/microscale</p> <p>(4) Machine learning system using nano/micro mechanical devices</p> <p>(5) Flexible and stretchable device for IoT and biological information measurement</p>	3
<p>Nanomaterials Engineering (Associate Professor Nakajima)</p> <p>(1) Researches into interactions of quantum beams with solid surfaces</p> <p>(2) Researches into development and application of high-resolution ion scattering spectroscopy</p> <p>(3) Researches into interactions and application of fast cluster ions and materials</p> <p>(4) Development of a novel imaging mass spectrometry using transmission secondary ion spectrometry</p> <p>(5) Development of sensitive secondary ion mass spectrometry with energetic heavy ions</p>	4
<p>Life and Mathematical Sciences (Professor Inoue, Junior Associate Professor Senami, and Assistant Professor Morikawa)</p> <p>(1) Emergent dynamics of living matters</p> <p>(2) Structure and evolution of complex adaptive systems</p> <p>(3) Regulatory mechanism of living systems</p> <p>(4) Mathematical modeling of morphogenesis and its engineering application</p> <p>(5) Design of bio-inspired network structure</p>	5
<p>Micro Process Engineering (Professor Suzuki and Associate Professor Namura)</p> <p>(1) Researches into nanostructure control using physical self-organization methods</p> <p>(2) Researches into formation and application of structure-controlled nanoparticles and nanowires</p> <p>(3) Researches into creation and application of optical functionalities using nanostructure-controlled multilayer films</p> <p>(4) Researches into control of radiation and absorption using nanostructure-controlled surfaces</p> <p>(5) Researches into thermal microfluidic phenomena using photothermal converting thin films</p>	6
<p>Precision Measurement and Machining (Associate Professor Kono)</p> <p>(1) Measuring and correcting motion errors in machine tools</p> <p>(2) Developing ultra-precision measurement and machining systems</p> <p>(3) Modeling and designing cutting and machining processes</p> <p>(4) Modeling machine elements' stiffness and friction</p> <p>(5) Dynamic designing of processing machines</p>	7
<p>Biomechanics (Institute for Life and Medical Sciences) (Professor Adachi, Associate Professor Maki and Assistant Professor Takeda)</p> <p>(1) Functional adaptation of living systems in response to mechanical environment</p> <p>(2) Multiscale modeling and simulation of multicellular tissue development and morphogenesis</p> <p>(3) Mechanosensing and intercellular communication of osteocytes in bone adaptive remodeling</p> <p>(4) Structural-functional dynamics of genomic DNA in cell fate determination</p> <p>(5) Biomechanical regulation of cellular components to engineer micro-nano machineries</p>	8

Research Descriptions	Area number
<p>Nano Bioengineering (Institute for Life and Medical Sciences) (Professor Shintaku, Assistant Professor Kaneko, and Assistant Professor Minegishi)</p> <p>(1) Nano/microfluidics for single-cell biology (2) Gene regulation on cellular mechanics (3) Temporal measurement of cellular dynamics and gene expressions to interrogate the gene regulatory network (4) Nano/micro-bioengineering to recapitulate a cellular micro-environment (5) Machine learning to uncover the interconnection between cellular dynamics and gene regulation</p>	9